

女性労働力の海外ケア領域への進出と 母国社会の「留守老人」問題に関する一考察 ——中国朝鮮族社会を事例に

発表者：許潔

(神戸大学大学院国際文化学研究科博士後期課程)

中国朝鮮族は、1990年代以降から今日まで、韓国を中心とした国内外への移住労働を大規模に行なってきた。現在、多くの中年層の中国朝鮮族の女性が韓国のケア領域に進出し、いわゆる韓国高齢者ケア産業の主流の労働力として位置づけられている。一方、海外移住労働が40年ほど経った今日、母国社会である中国の朝鮮族社会には家族の世話を受けられない「留守老人」の問題を抱えている。

発表者は、2021年10月より2ヶ月間、中国延辺朝鮮族自治州に滞在し、フィールド調査を行った。当時、韓国に行き来しながら経済活動を行っていた中国朝鮮族の女性出稼ぎ労働者への調査を中心に、現在の中国朝鮮族における家族のあり方を捉えようと試みた。

本発表は、フィールド調査の経験と二次データを活用し、中国朝鮮族女性の韓国ケア領域への流入と中国朝鮮族社会の「留守老人」問題の実態を考察してみる。

日時：2023年
3月9日(木)
17:00~19:00

開催形式：オンライン (ZOOM)

参加登録：3月8日(水)まで

参加申し込みはQRコードより

問い合わせ先：

神戸大学大学院国際文化学研究科文化人類学コース

神戸人類学研究会 荒木真歩 anthropologykobe@gmail.com

主催：神戸人類学研究会

共催：神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート (Promis)

